

Active activity

しま×にじ 通信

Active activityで実施している「しま×にじ」の活動を紹介します。

▶メンバー

市民協働課	杉本	健康づくり課	福島
市民協働課	天草	健康づくり課	大村
市民協働課	藤原	スポーツ振興課	山下
人事課	大石	建設課	柴田

しま×にじの活動目的

- ▶職員が性の多様性やジェンダー問題について、正しい知識や考え方をもち、組織内で性別に関わりなく能力を発揮できる環境整備を目指していきます。
- ▶市民に対しても性別・外見などに関わりなく適切な対応を心がけられるよう、グループで意見や考えを深めていきます。

▶グラドルール

- 人の話を遮らない。最後まで聞く。
- 他の発言を否定(ジャッジ)しない。
- 正解はありません。考えることが大切！
- 年齢や階級の垣根を越えて交流しよう。
- 無理に参加・発言しなくてもOK。

▶最近気になったニュースor個人的ニュース

・働きやすい服装が通年実施された

→どこまでが不快に思われない格好？

嬉しい！服装に少し変化をつけてみたい♪

・男女共用トイレの使用について

→LGBTQの人じゃなくても使っているの？

お父さん「ばあちゃん介護してた時こんなトイレ欲しかった…」

・居場所交流会に参加してみた

→当事者の人々の話からいろんな学びや気づきがあった！

▶カミングアウトをした人と、受けた人の対談のようすを鑑賞

- ・ そうしと母のはなし

男性同性愛者のそうしさんと母親との対談

- ・ きょうへいと友達の話

トランスジェンダー男性で大学生のきょうへいさんと
中学時代の友人との対談

認定NPO法人ReBit 「【中学校版】多様な性ってなんだろう？」 再生箇所は2分30秒～12分55秒

<https://youtu.be/32bLrf0dBds?si=NQ63VYuDo06TVw4Q>

参加者の感想・意見（抜粋）

カミングアウトを受けた後、どこまで踏み込んでいいのか迷うのが受けた側の気持ち。どこまで踏み込むかはお互いに勇気がいる。

昔の自分を知っている人には、打ち明けないまま縁を切ってその時の記憶のまま忘れられたいと当事者は思っている。

カミングアウトされた時の対応にセオリーなんてない。実際にその場になってみないとわからないことだ。

動画の2人はたまたま受け入れてもらえてラッキーだったと思う。実際には受け入れてくれる人ばかりじゃないはず。

参加者の感想・意見（抜粋）

昔は個人よりも世間体のほうが重視される傾向にあったけど、今は個が尊重されて「自分が自分でいい」という風潮があると感じる。

自分はカミングアウトされた経験がないけれど、もしされたらどう答えるかということはずっと考えている。

カミングアウトしてそこで終わりじゃない。一度に全部理解してもらえないわけでもない。その後も話し合って関係性を築いていく。

親目線では「なんでその時言ってくれなかったの？」と思うことが多々ある。でも子供にとっては親が思ってる以上に重く感じていることもあるんだろうな・・・。